
聖なる王女と暴嵐の銃神

流狼人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聖なる王女と暴嵐の銃神

【Nコード】

N8470K

【作者名】

流狼人

【あらすじ】

渾名は管理局の汚点・トリガーハッピー・人間兵器等と付けられており、「暴嵐」の二つ名（白い悪魔並みに）で恐れられている一人の男。そんな男が、オッドアイの少女に出会った。

プログラグといづ名の予告(前書き)

はじめまして。 t i n n a m i で書いていましたが、一時スランプになり少しこちらでお世話になります。若輩者ですがよろしくお願ひします。

プロローグという名の予告

戦闘編

「や、やめてくれ。か、金ならい、幾らでもだ”ズドン”ギャッツ」

”ズドン”

”ズドドン”

”ズドドドン”

”ズドドドドン””ドサ”

「屑が。しゃべるな。いままで貴様と今まで同じ種族　ホモサピエンス　だった自体、屈辱的なのだからな。」

日常編

「……だから私は撃った。そう、悪を撃った。なのになぜ！牢屋に入っているのですかな！？オーリス女史！！」と監獄の中で吼える獣。名をレイス・グラード。渾名は管理局の汚点・トリガーハッピー・人間兵器等と付けられており、特に悪者たちからは”暴嵐”の二つ名（白い悪魔並みに）で恐れられている。なぜこいいるかって。犯罪者とはいえ人を殺したからだ。

「ですから。奴は女子を……いや年端もいかぬ子供を人質にとり、慰め者にしようとした悪！！花とは愛であるもの。そう、あいつ等は屑です。人の屑！！あいつらと同じ立場にいる種族として、銃殺刑という名の処刑を行なったただけだと言うのに。なぜ誰も判ってくれない！！」と捲くし立てるこの男はいつになつたら静になるのかと……いや、それもそれでなぜか不気味だ。寒気がしたぞ。しかもこいつとは腐れ縁。というよりも、同期である。お陰でこいつの世話

はいつも私だ。まったく、私だって忙しいというのに。

「そうか・・成程成程・・・つまりこれは試練だということですね！分かりましたオーリス女史！否、オーリスよ！これは貴女が与えてくれた愛の・・いや恋の試練だということですわ！わかりましたとも！！この牢屋から脱出し婚姻届に貴女と私の名を記し、父君であるレジアス中將に提出すれば「寝言は寝てほざけ！！」オグン！！」と、まったくなぜ父はこんな奴を重宝するのでしょうか。確かに、ゼストさんたちの後釜で首都防衛隊・隊長に命じられ、ミッドチルダの平和を守っているし、犯人検挙率過去最多で暴走しなければかなりカッコいいはずなのだが。

〈機動六課編〉

「・・・と、言うわけだ。」「何ですと？私が機動六課に仮移動だと。」「レジアス・レイスと二人は話していた。オーリスは茶の準備をしていた。」

「そうか。そうですか、成程。つまりこれは試練。いや、決戦だということですわね。憎き魔王・死神・夜天から地上の平和を守れというわけですね！！わかりました！！全力で奴等を叩き込んでまいりませうわい。クツクツク、ヒヤッハーハー！！！！」とある意味、命がけの試練に挑まんとするレイス、しかも暴走気味。

「・・・いや違うぞ。スパイになれと・・・いや、まてよ。こいつの力であれば・・・あるいは・・・」と何か思案するレジアス。

「わかりました。わかりましたとも！！では、中將！いえ御義父さ

プログラグという名の予告（後書き）

厳しい採点及び評価待っています。

主人公設定という名の俺的チート（前書き）

連投失礼します。今の内やらないと、またスランプに……。t i
n a m iのほづはしばらく無理そうなので、ここで頑張りたいと思
います。

主人公設定という名の俺的チート

主人公紹介

レイス・グライド(元ネタ、エルグランドから)

所属 首都防衛隊 機動六課

階級 二等陸佐

身長 177cm

体重 65kg

性格 仲間思い。子供好き

術式 ミッド式

髪の色 こげ茶

魔力色 青紫

魔力ランク AAA+

魔道師ランク 陸戦S+

デバイス

名前 フォルテンギヤラクシア 通称フォルテ ムギヤランフォル
ティス×ギヤラクシーエンジェルTM

規格 インテリジェントデバイス

人格 女性型 声：山口真弓 ロード呼び名：隊長

形状 待機状態ではチョーカー。起動状態は銃器型

ベルカ式カートリッジシステム搭載。最大六発

必ずカートリッジしなければ魔法が使えないが、威力はお墨付き。
長年の相棒。

セットアップ時、目の所にアイシールドが装着される。(スクライ
ドのあれに似ている)機能は敵味方瞬時差別・望遠鏡などがある。

モード1 機関銃・サブマシンガン : ガトリング

ワンカートリッジで最大百発越えの魔法弾を一発ずつだが連射して
放つ。口径変換も可能。”暴嵐”の由来所。

モード2 大砲・バズーカ : バースト

ワンカートリッジで直径二メートル越えの貫通弾を放つ。威力は某魔王の星光弾とほぼ同等。だが使用後、三分間はこのモードが使えなくなる。

モード3 鎧装銃・フルアーマーガン : レジェンド

フルカートリッジ時のみ使用可。両手、両脇にサブマシンガン・肩に無反動砲・背にロケット砲にジェットブースターを装備、五分間撃ち続ける事可。空戦可。

魔法

ゼフィルスランページ・・・モード1の時使用。当たらなかった魔法弾をアイシールドに登録されていない(仲間・局員は登録されている)物体に一斉攻撃。容赦なし。

ハイパーカノン・・・モード2の時使用。船一隻落としたことあり。

ストライクバースト・・・モード3の時使用。一斉射撃。また、敵を複数にロックオンできる

主人公設定という名の俺的チート（後書き）

作者一言。……………自分、このアニメ見ていません。

（実話）

また、リリなの自体ほかのssみて書きたいな、と思い書いたので原作とは少し違った感じになります。

復活という名の過去（前書き）

復活

よるしくね

復活という名の過去

俺は罪人。

尊敬していた人を死なせてしまった。

名をく武人>ゼスト・グランガイツ

守ると言った相棒を怪我させてしまった。

名をく流星>ティーダ・ランスター

それからは・・・ただただ機械のように人を傷つけ、殺してきた。

悪い事をした覚えはなかった。そうしなければ他を守れないからだ。

ツフ。言い訳だ。自覚している。でもこれで他を傷つけないで済む。

傷を付くのは・・・死ぬべきは俺一人でもいいのだから。

なのに

「隊長くキリッ！>お金貸しセ」金が無いなら裏でストリートファイトして稼げ。良い訓練にも成るぞ。」嫌ー！ー！っす。この前稼ごうとしたら『あら？可愛い子？』とウインクしてきて 脚されたんすよ！！其の上良く見たら中心が膨らんでいたんで思いつきり砲撃したら『アアッ、モット！！ホワイトデビルのように汚物を見るように・・・モット！！』とか言っただジャンピングしてきたんですよ。うう。コワイヨ。ヘルプミイ、マイスイート。」

「あ、じゃあ隊長。w「貸さん。これはオーリスさんとの食事で使う予備金だ。」ウウ、妬ましい。ああ、妬ましい！もう少してゴールインだったのに、結婚詐欺で其の上、『良い鴨葱でした（笑）』って笑えねーよ！！チツクシヨー！！リターン、マイマナー！！」

と、増えていた。

だが、今度こそ守ればいい。例え犯罪者になろうとも。自分の悪事で平和に成るんなら、喜んで悪の泥を被ってやろっ！！

復活という名の過去（後書き）

後書き

テレビを見て無いから打ち切ったけど、それも有りじゃね？と言われたんでやってみた。次回が？なのはやるか未定だから。

故にアンケート。

- 一、やってくれ。
- 二、寝言は寝てほざけ。
- 三、今やっている奴を書いてくれ

感想に批評をプラスして書いてくれ！！よろしく！！

再会といじろ名の殺し合い（前書き）

感想ください。

再会という名の殺し合い

結論から言おう・・・子供を拾った。

いや何。久しぶりに謹慎く犯罪者殺しの罰くが解けてさて遊ぶかと思つて、町をブラブラしていたらなんか悪寒がしたから、少し裏道に入つてみたらマンホールから子供が出て来てびっくりだよ。

其の後さらにガキが増えるわ、ヘリが来て子供寄越せと迫るわで、まっ断つたがな。治療用のカートリッジを飲ませたし。あとランスターの妹がこつちを睨むわでなんなの・・・俺の休日を返せー！！！！

つむ、連絡か

「なんd 隊長！事件です！！」・・・会議室でおk 其のネタ何年前のツスカ！！取敢えず謹慎解けたつて聞いたから連絡しました。あと事件の内容はそつちに送りましたんで見てください。・・・・

・・・・おい、そこは今調査だけか・・・っへ？まあ、そうですね。それg だったら、調査班だけ残しておれの居る所に全員来い！！ガジェットが出やがった！！は、はい分かりましたッス あ、

あとタクト『はい？』兵舎から俺のデバイス持って来い。『わかりました』・・・さて

<ジャキツ>

リボルバーに弾は無限、後アーミーナイフ一丁か。」

さて、働くかな。

ヴァイス視点

おいおい、マジかよ。

「ヴァ、ヴァイス君・・・彼は・・・いったい？」

困惑気味なシャマル先生。まあ無理はねえ。

質量兵器である拳銃を連射し、何度も見ても早い弾籠めで隙を無くし、近づくガジェットには分厚いナイフをライト部分にぶつ刺してよじ登り、ナイフで開けた穴に弾を発射、離脱を繰り返す奇抜な奴。

まあ、俺のダチでもあるんだがな。

魔法主義のこの世界でカーボーイを気取る奴なんて・・・現実に戻ろう。

「シヤマル先生、奴はく暴嵐>のレイス二等陸佐。空に魔王・陸に殺王と空陸二大王の名で知れている高町隊長に匹敵する男っすよ。」

ま、あそこにあいつがいる限りこの場は大丈夫だろ。

・・・でも、子供を背負い込みながら良く動けるな？

視点：終

ぜ〜は〜ぜ〜は〜

まったく。久々に疲れたぜ。

あの後起きたことと云えば地震が起きたり、カブトムシが出たり、今ヘリが落されようと・・・何、止めた？

あ、あいつは・・・魔王か？やるね〜。

「隊長！」「っむ、

「タクトにランファ。遅いぞ。」

そう言っただけでランファの残骸の山の頂上に腰を下ろした。

「そう言わないで・・・って隊長。その子供は？」

「お前らの調査していた容器の中身つばいからな。確保しておいた。タクトはその子に治療と機動六課がこいつに横やりをして来ないよう書類を作成。ランファはランファの残骸を調査・・・あとデバイス寄せ。」

「はい。それにしてもこのk<ガシャコン> モード？：バースト
ってはいいいい！！隊長何してんの！！？」

「ああ。魔王が目立つのが嫌だから。あと、主犯の一味がいるつばいからな。」

「嫌だからって・・・隊長やめ チャージ完了。いつでも。 やめ
てーーーー！！」

「ハイパーカノン!!」
<ギャオン!!>

機人視点

「あら。防がれましたわね。」「そうだね。でも、戦力も大体わかったし。」

ビルの上でヘリを狙った二人組。

ジェイル・スカリエッティの傑作<戦闘機人>である。クアットロとデイエチ。

「それにしても、陸にはマシな戦力が一人も・・・あら？」

クアットロがレイス達の方を見ようとした瞬間

「っ！高エネルギー反応！！クアットロ。逃げっ！！」

ようと伝えようとしたが出来なかった。

なぜならすぐ傍にその高エネルギーが迫って来たからだった。

視点：終

ズドーン

っふう。

「ふうじゃないっすよ!!また、請求書の嵐じゃないっすか。」

「安心しろ。お前の秘密バラすよと謝れば許してくれる。」

「……微妙に安心出来ね〜^|^;」

なんだ。その顔？

っむ、この風は!!

<ガシャコン> モード? :ガトリング

「おおおお!!」

ガガガガガガッガ!!

と迎え撃ったその先には、手足に羽のような刃を装着して此方を睨む一人の女

「はっは!久しぶりだな。……三号機!!」

それは、罪の形。

それは、過去の過ち

「私の名はトーレだと、あの時も行ったと思うが。」

「はっそれがなんだ？だからってその名で呼ぶ義務なんて一つも無いぞ？」

「それもそうだな。負け犬。この名も呼ばない義務もないよな？」

そついつて馬鹿にしたような顔をして冷笑する女。

「ああそうだな。それじゃ、勝って其の呼び名を改めさせてやろう。異論は許さん。」

「出来るのか、負け犬如きに！」

そついつと、女は下降して行く……物凄い勢いで。

男はデバイスを放つ……弾数は無限の如く。

二人は争う……数年前の決着の為にも。

次回

争う二人に死神が混じる。一人は正義の為・一人は生みの親の為・

一人は復讐の為

ただ、三人は争う。

己が勝つために。

<混戦という名の三つ巴>

「邪魔するなよ、死神。止めると殺すぞ！」

「邪魔しないでいただくか。失敗作。」

「つく。二人纏めて拘束させていただきます。」

再会といじろ名の殺し合い（後書き）

感想ください。まっていますんで

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8470k/>

聖なる王女と暴嵐の銃神

2011年1月7日17時32分発行